

# No. 1340

## 信濃路の秋

—戸倉・上山田—

詩と歴史を秘めて流れる千曲川。

「信濃なる筑摩の河の細石も、君し踏みてば玉と拾わむ」と万葉集にも詠まれた川のほとりに戸倉・上山田温泉郷がひらける川のせせらぎに驚き、小鳥が飛び立つ。カカシに見守られて稲穂が首をたれる。実りの秋。ぶどうやりんごが枝もたわわに実りを誇る。信濃路はもう深い秋。

# 19世紀オランダ絵画展

芸術の秋。中日新聞主催のゴッホとその時代の画家たちによる「19世紀オランダ絵画展」が今名古屋市、愛知県美術館で開かれています。オランダの主要な美術館から出品してもらった106点、ゴッホをはじめ46人の画家の傑作が並び、19世紀オランダ絵画の全容をみせています。古くから東洋貿易で栄え、富裕な大商人たちが画家たちのパトロンとなって一大美術国となったオランダ。この絵画展はオランダ近代絵画の流れを知るよい機会となっています。

# 総選挙スタート

80年代の政治動向を左右する第35回衆議院総選挙は9月17日公示された。この日自民党をはじめ各党党首が熱っぽく第一声を行った。大平自民党総裁「思えば波乱の10年、きびしい10年ではあったが国民の英知と努力によってこれを乗り越えた。。これから迎えようとする80年代は濃霧の中にある。」飛鳥田社会党委員長「大平内閣は一連の航空機疑惑をかばおうとしている。こうした構造汚職を改めさせるためには自民党の安定多数を阻止しなければならない」。竹入公明党委員長「公明党は増税を断じて阻止するため全野党の先頭に立ちます」。佐々木民社党委員長「自民党の金権政治が終らぬがぎり、政治は金のある方に顔を向け、国民大衆の方には顔を向けません」。宮本共産党委員長「日本国民に革新の未来があることをわかってもらうために、日本の政治を変える統一戦線を固めなければならない」。河野新自由クラブ代表「新しい保守か、それとも疑惑につつまれ国民にのみ負担を求める古い保守か、われわれは社会主義を第一に国民と共に歩む」。田社会民主連合代表「今回の選挙は社民連の存亡をかけた戦い。勝つかどうか日本政治の中に生きて行けるかどうかの分かれ道です」。増税、エネルギー、航空機疑惑などが争点の今回の選挙。10月7日投票日まで20日間の選挙戦に突入した。